

すぎのこ



幼保連携型認定こども園
尚綱大学附属こども園

謹賀新年

保護者のみなさま、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願っています。

今年も元日から心を痛める出来事が続きました。元日に起きた能登半島地震、それにも関連がないとはいえない、翌日に起きた羽田空港滑走路での衝突事故、そして三日に起きた小倉での火災と、熊本地震当時のことを思い出しながら、関係者の方々のご心痛を想像し、一日も早い復興を心から願っています。このような始まりを迎えた二〇二四年。今年も「龍」年です。この「龍」を国旗に描いている国に世界一幸せな国と言われるブータンがあります。その国王夫妻が、東日本大震災の年に

訪日され、相馬市内の小学校を訪ねられ、国王はブータンの国旗に描かれた「龍」

をされました。

皆さん

は、龍を見たことがあり

ますか？私はあります。王

妃もありません。

龍は何を食べて大きくなるのか知っていますか？龍は、経験

を食べて大きく成長していくのですよ。私たち一人ひとりの中

に「人格」という名の龍が存在しているのです。その龍は、年々

取り、経験を食えるほど、強く、大きく、なっています。人は、

経験を糧(かて)にして、強く、なることができるのです。



ブータンの国旗

そして何よりも大切なことは、自分の龍を鍛えて、きちんとコントロールすることです。この「龍」の話を、私がブータンの子ども達

にする時には、同時に、

「自分の龍を大切に養いなさい。鍛錬しなさい」ということを言

っています。わがままを抑える

ことや、感情をコントロールして

生きることが大切なのです。『ワンチュク国王から教わったこと』ペマ・ギャルポ著／PHP研

究

素敵なメッセージですね。今日の始業式では、日本をはじめいくつかの国の国旗を紹介

し、ブータンの国旗と国王のお話を園児向けに砕いて話をしま

した。そして、「みなさんは、縄跳びができるようになったり、

ブランコを自分でこげるようになったりなど、少しずつ成長

しています。でも成長しているのは身体だけではありません。

『いやだ、いやだ。』と泣いたり、友達と物の取り合いをしてけん

かになったりすることが少し

づ少なくなってきた人も多いでしょう。また、順番を守ったり嫌いな物でも少しずつ食べられ

です。心の中の龍がとてもいい龍になってきている証拠です。今年も、心の中の龍を大切にそだてましょう。」と話をしました。

「ごほうび」は効果あり？！

「改善したり、実行した時の『ごほうび』制度をつくることは効果的ですが、『無いとやらない』にならないように気を付ける必要があります。『どうしてそうする必要があるのでか』を丁寧に説明したり、お手伝いなら感謝の気持ちを毎回伝えたりすることも大事です。：以上は「リビング熊本十月号」からの転載です。では、どのような「ごほうび」制度にすればいいのでしょうか。

「学力の経済学」中室牧子著／Discoverでは、ごほうびの効果と方法について科学的根拠を交えて解説してあります。一部紹介します。具体的例は、一部幼児向けに改編しています。

・「テストでよい点を取ったらごほうびをあげます」より「本を一冊読んだらごほうびをあげます」の方がよい。学力テストや通知表の成績などに「ごほうびをあげる」ことよりも、制服をちゃんと着る・たたむ、宿題を終える、本を読むなど何をすべきか具体的な方法にごほうびをあげる方が効果的である。

・子どもが小さいうちは、トロフィーのように、子どものやる気を刺激するような、お金以外のごほうびを与える方がよい。(中高生以上はトロフィーよりお金の方が効果的)

・金額や与え方を間違わなければ、お金はそんなに悪いごほうびではない。お金の価値に加えて、例えば貯蓄用の銀行口座をつくらたり家計簿をつけたりするなどの金融教育を同時に行っていくと、貯蓄することの大切さまで学ぶようになる。

・子どもをほめるときは、「あなたはやればできるのよ」ではなく、「今週はちゃんと自分で起きたね。」「今日は野菜を三口、食べられたね。」「一時間も本を読んだね。」と具体的に子どもが達成した内容を上げることが重要。そうすることによって、さらなる努力を引き出し、難しいことでも挑戦しようとする子どもに育つ。

目の前の子どもが小さな成長に気付かず、声に出して認めほめ励ますことが大切なことだと思えました。園としても、保護者の方と一緒に園児の成長を認め合える存在でいたいと思っていました。